

伊東市特別職報酬等審議会会議録 (令和6年度第1回要点記録)		公開の 状況	(公 開) 非公開
開催 日時	令和6年7月25日(木) 午前10時32分～午後0時08分	場所	市役所7階 特別会議室
出席者	委員(10人) 市川正樹、稲葉俊哉、木村祐太、三枝哲哉、鈴木克政、 鈴木洋子、高橋義典、村田充康、森知子、山田公仁 諮問のため出席した者(2人) 市長、職員課主事 事務局(5人) 企画部長、職員課長、財政課長、職員課課長補佐、同課課長 補佐		
欠席者	なし	傍聴者	報道関係者2人
議事	(1) 臨時座長について (2) 会長の互選について (3) 会長職務代理者の指定について (4) 特別職報酬等の諮問について (5) 審議会の運営方法について (6) 特別職報酬等の審議について (7) その他		

【議事の概要】

(1) 臨時座長について

事務局から、臨時座長は前回審議会において臨時座長を務めた委員に依頼することを提案し、各委員の了承により、鈴木洋子委員を臨時座長として決定した。

(2) 会長の互選について

委員の中から、鈴木克政委員を会長に推挙する旨、発言があり、各委員からの承認を得て、鈴木克政委員を会長とすることに決定した。

(3) 会長職務代理者の指定について

鈴木会長から鈴木洋子委員を会長職務代理者に指定する旨発言があり、これを鈴木洋子委員が受諾した。

(4) 特別職報酬等の諮問について

市長が諮問書を朗読の上、鈴木会長に手交した。

(5) 審議会の運営方法について

事務局から、会議は公開とすること、会議の審議過程を要点記録としてまとめ、市ホームページ上で公表すること、次回以降の会議日程は今回会議の最後に協議決定し、各委員への通知等による開催案内は省略することの3点を説明した。

事務局の説明に対して、特に質疑なく、説明に沿った運営とすることに決定した。

(6) 特別職報酬等の審議について

審議の冒頭、各委員に対して配付した資料について、事務局から説明を行った。

その際、資料の内容に対する委員からの質疑はなかった。

その後、鈴木会長から審議の進め方について説明があり、各委員から進め方の了承を得て、審議に入った。

なお、審議の概要については、別紙のとおりであった。

(7) その他

① 次回以降の審議会開催日程について

第2回審議会を8月26日（月）の午後1時30分から、市役所7階特別会議室で開催することで決定した。

② 委員報酬について

事務局から、各委員への委員報酬の支払いは、全ての審議会終了後に一括して行うこととし、業務上の都合により報酬辞退する場合は、辞退届を提出する必要があることを説明した。

【審議の概要】

(会 長) まず、総括的な討議として、各委員の発言を求める。

(委 員) 今年4月に民間のベースアップで、多くの大手企業が労働組合の要求に対しほぼ満額回答している。それでも物価高には追いつかないというような状況を踏まえて、報酬等を考えていきたい。

(委 員) 事務局の説明で、本市の財政状況は好転してきており、現状では健全な財政運営ができていているという話を聞き、非常に安心したところ。

観光業界の現状について、最近ではコロナ禍前の状態にほぼ戻りつつあるという話も聞いているが、コロナ禍のときには観光業界は非常に落ち込んで、業界全体が大変な思いをした。

一部では、コロナ禍前よりも全然いいというところもあるが、業界全体としては、ようやくコロナ禍前ぐらいいまで戻ってきたという印象であり、インバウンドなど様々な要因で、本市に来遊客が一定程度増えてきていると思う。

いずれにしても、市の経済状況が好転してきているという面があるので、そのことを念頭に置きながら、各委員と議論できればと思っている。

(委 員) いろいろ説明を伺う中、県内の大体同じ規模の市と比較しても、本市は良いと思った。他方、物価高がものすごく強調される状況で、賃上げに関しては市がある程度見本を見せないと民間事業所はなかなか給料を上げてこないと思う。そのことも踏まえて、各委員と話し合っていきたい。

(委 員) 私は、仕事柄、地域の法人の決算内容とか見ており、売上は近年右肩上がりに上がっているものと判断する。一方で、売上原価などの高騰もあり、最終的な利益まで上がっているかといえ、そのあたりは少し微妙で、上がっている企業もあれば、まだ価格転嫁できずに利益に結びついていないという企業もまだ散見される。

全体的な景気感は少し上向きではないかと受け止めている。本市の財政状況等も順調に推移しているということで、後ほど資料を詳しく見ながら、報酬等について現状維持なのか、上げていくのかということ判断したい。

(会 長) これまで前回就任の委員から、先に発言をいただいた。続いて、就任1回目の委員から、順に意見を伺いたいと思う。

(委 員) コロナの前と比べても、景気は回復してきていると思う。しかし、現状では、会社側から解雇したわけではないが従業員が辞めてしまい、客は来るものの従業員がいないから会社として対応ができないという状況が起きている。

このような状況に加え、昨今の温暖化現象に伴い頻発する災害など、本市でも今後は緊急的な対応が多くなると思うので、これからは長期的な視野を持って財政運営を進めないといけない。能登半島の地震の例もあるので、少し支出を控えて、もっと効率的に考えながらやるべきと思う。

(委員) 私は、報酬というものは、基本的に責任ある方はある程度見合ったものを受け取っていただくという形が一般的と思っている。財政が厳しいとなればその期待に沿うものとなるかはわからないが、この会議を通じてその判断をしていかなければいけないと思っている。

農業に関しては、肥料等が大変値上がっており、10年前と比べると倍近くの価格になっている。厳しい状況であるが、価格に少しずつコストを乗せていく形を取らなければいけないと思っている。

この会議では、様々な産業界の方々と意見交換しながら、議論を進めていきたいと考えている。

(委員) 先程、資料について事務局から口頭で説明していただいた。そこで、まず1点質問したいが、審議する内容に対し、市としての目標値など、伊東市としてどういったものを目指しているのかという点は示していただけるのか。

団体としても、行政と協力して様々な事業をやっている中で、伊東市はこういうことを考えているというところを団体の会員に伝えていきたいと考えているので、市から目標値を示していただけるとありがたい。

もう1点、先日、市から職員が来て、ふるさと納税についての話を聞いた。年々寄付額が増えているということで、そのことに関する資料を今回の会議に加えていただければ意見交換にも何かプラスの面があるかと思う。これまで主に市内のことを話していたと思うが、外からの財源確保という面で市はかなり積極的に動いているイメージがあるので、その部分を説明いただきたい。

(会長) 市の目標値ということであるが、事務局。

(事務局) 只今委員からの、市としての報酬額等の目標値はあるかとの質問であるが、市として特段目標値というものは定めていない状況である。その理由は、委員同士で先入観なく自由に議論していただくことが望ましいと考えているからである。

冒頭、事務局からの説明にあった、人事院勧告や本市の財政状況、それから市内の経済状況、そのようなものを総合的に勘案し、また県内での伊東市の立ち位置や類似団体の中での位置づけを示す資料を見ながら、委員それぞれが思う中でこの額が適正だと、責任に見合った額はこうだということを議論していただくのが最善と考える。

したがって、市として、例えば市長はこのぐらいの給料をもらった方がいいなどの目標値は只今持ち合わせていないため、この会議では活発な議論をお願いしたい。

それから、ふるさと納税についての資料は、事務局で次回までに用意させていただきたい。なお、ふるさと納税について、金額は、今年度予算では8億円ほどを見込んでいる。参考までに、令和5年度の決算では概ね6億円程度であるので、2億円ほど増額となる。

(委員) 前年度から今年度にかけて、世間では春闘でかなりの賃上げがなされるなど、賃金上昇の流れが来ていると思っている。一方、コロナ禍によりかなり痛手を負った企業については、賃上げができず、または無理をして賃上げしているという状況もあると感じている。

本市の現在の財政状況の説明を聞き、今後50年、100年後の市政への継続性や、市長など特別職を務める方々のモチベーションというところも加味して、各委員と議論をしていきたいと思った。

(委員) 今、事務局から資料の説明等あったわけだが、私は、市の財政状況などは特に切羽詰まった状況ではないと感じた。

また、国内では賃上げも進み、事業者としてやらなければいけないというような環境の中、私の会社でもボーナスや給料を上げていこうという気持ちがある。

大変な意見もいろいろ出ているが、私個人としては今の説明や資料を見ても前向きに考えていく方がいいのではという印象を受けたので、これからの会議で各委員の意見を聞きながら、その印象を発言していくことになると思う。

(会長) ひと通り、委員全員から意見を伺った。

さらに、他に意見、発言しておきたいことがあれば、挙手して発言いただければと思うが、いかがか。

(委員) 資料を今日いただいたばかりで、まだ詳しく内容がわからない。だから、今日資料を持ち帰り、よく読んで、気になったところを改めて質問、検討させていただきたいと思う。

ただ、最近の市内の経済状況を見ると、必ずしも皆が上向きではなく、かえって厳しいという声も多いと思うので、いろいろ考え、検討してみたい。

(会長) 市内の経済状況という点で、先ほど委員から決して楽観視していないとの意見があったが、他に付け加えることはあるか。

(委員) コロナ禍の時期と比べれば幾分回復はしているが、他の委員が述べたように、宿泊施設も人手不足による売り止めというか、満室にできない状況がある。旅館は従業員がいなくて採用募集をかけるが、なかなか人が集まらないと聞いている。

一つの例であるが、時給1300円で募集かけても来ないという声を聞くなど、本当に人がいない。あと交通関係では、バスなどの運転手が全然足りていない。タクシーの運転手も全然足りないという声も伺っている。実際、夜、伊東駅に電車が着いたときにタクシーが1台も止まってなくて、来遊客が困っている状況も目の当たりにしている。人手不足の状況が改善されればと思う。

(委員) 交通関係もそうであるが、物流関係も同様である。物を送る際も、これまでより時間もかかり値段も上がっている。

また、団体として商店街などを見ていると、商店で働いている方々が高齢化して、そのまま経営者がいなくなり、その後商売を続けられないというところが結構増えている。午後5時を過ぎると「シャッター通り」となっている現状をどう

すればよいのか悩んでいる。せめて、夏は時間をずらして営業してもらうことができないか伝えているが、それに対しても人がいないから難しいということで改善が進まないなど、人手不足が大きな影響を与えている。

この現状についてももう少し行政と踏み込んだ話をして、人やお金の面で商売を支える仕組みを作らなければいけないと思っている。

(会長) 個々に話を伺うと厳しいという意見がある。人手不足という状況もかなり影響を与えている印象を受けた。そのあたりのことについて、どなたか発言できるか。

(委員) 交通関係については、委員皆ご承知のところだと思うが、新たに採用するといっても、退職分を補充していくのも精一杯というような状況である。今後、新たな観光資源ができて、そこで公共交通資源が必要となり投入できるかということなかなか難しい。伊豆半島全域の状況として、現状を保つことがやっとというような状況であると聞いている。

あと、団体の立場から言えば、正規で働いている方々は先程述べられた春闘など労使交渉でかなりの恩恵を受けている状況であるが、一方非正規で働いている方々、母子家庭とか、片親世帯とか、そのような環境に置かれた方々はかなり厳しい生活であると聞いている。

また、フードドライブ活動にも関わっているが、夏休みで給食が出ないと食べるものがないという家庭があることに加え、フードドライブへ物資が集まりにくい状況も生じている。寄付があっても、物価高の影響でこれまでと同じように物資を用意することができないということである。

(会長) 他に、意見はあるか。

(委員) 先程のふるさと納税の話題で、収入の関係は資料を出してもらえとのことであるが、他方、支出についての資料も出していただけるのか。収入と支出がわからないと、どういう状況か判断できないと思う。

(会長) では、ふるさと納税について収入と支出や使途がわかるものを次回提供したいと思う。他には意見があるか。

(委員) 商店街に関係する話であるが、先日、私達の団体が市に協力して「ゆかたび」に参加した。会員20人ぐらいが参加して、商店街でお買い物しましょうと声掛けして出かけたところ、ほとんどの商店が午後6時過ぎには閉店していた。あれには少々がっかりした。飲食店は一部開いていたので、皆で食事してきたけれど、夏場であればもう少し店を開けていてほしいなと思った。また観光客もぶらぶら歩いていたが、そのような状況だからどこも寄るところがないという感じに見えた。そのような状態は改善できないか、商店街の人たちに少し考えていただきたいと思った。

(委員) 確かにそうである。昔のキネマ通りや湯の花通りは、自転車で通り抜けるのが難しいぐらい人が歩いていた。宿泊客が下駄で歩いていたりしたこともあった。

話は変わるが、先日やまもプラザで盆踊り大会などのイベントを開催した。その際、事前に地元の小学校や幼稚園へ行ってこのようなイベントをやりますと知らせたら、結構来ていただいた。単発にはなるけれども、我々の団体もそのような活動や夏時間、冬時間ということも少しずつ導入しながらやっていかなければならないという思いがある。そのほかに空き店舗の利用方法について、何か活性化に繋がるようなことを考えている。

(会 長) 他に、意見はあるか。

(委 員) 質問になるが、この会議の席で市への要望なども伝えていいのか。私自身この会議の主旨が少しわからなくなってきたので、確認したい。

(会 長) あくまで、この会議は特別職等の報酬、つまり市長、副市長、教育長の給料、それから議会の議長など議員の報酬を議論する場である。

(全 委 員) (質疑、意見なし)

(会 長) なければ、本日の審議はこの程度にとどめ、次回の会議で市長、副市長及び教育長の給料並びに議員の報酬について、個別に審議いただくこととする。

以 上